

「一土んという人」

6組 カプトル・アリーナ

人の優し土は何回救おれたことかあるだろう。  
 う。そんな風に考えたことありますか。

私たち人間は一人では生きていられない存在だ  
 と思います。一人で全部せおうことが  
 できる人なんて見たことありません。人に頼

るのはいいですか。だめですか。たぶん人によ  
 って答えがいろいろあると思います。

私は人に頼ってもいいと思います。いくら  
 精神的に強い人でもときどき弱くなることか  
 あるでしょう。そんな時には無理をして強か

、たところで何の意味があるでしょう。も  
 ちろん、状況によって強かくなければなら  
 ない時もあることを否定はしませんか、たいて

いの時はどうでしょう。

確かに、周りの人に迷惑をかけたくない気  
 持ちはおかります。ですが、大事な人が困  
 っている時はあなたはどうな気持ちになります

か。助けたくなるでしょう。ですが、逆に  
 困っている人の方も他人の助けを受け入れて  
 みてほしいと思います。頼ってほしいと思  
 います。そんな風にも人とのつながりが強  
 くなって、私たちはもっと幸せになります。  
 人間には健康であるために必要なものの中で  
 他人とコミュニケーションをするというこ  
 が科学的に証明されています。そういうわけで、  
 人と人のつながりを深めるのはいいことだと思  
 います。  
 しかし、大事な人だけでなく、あまり知ら  
 ない人が初めて会う人ともっと助けを求  
 めていることがあります。どうするか人によ  
 って選択が違います。ですが、可能な限り、  
 他人の頼みから目をそらすまいとお願い。  
 あなたにとってはいしたことでないかも  
 しれないですが、あなたのおかげで誰かが救  
 われることがあります。と思います。私がそ  
 れを確信したのはある日、2011年の後からです。  
 おおは2週間ぐらい前の日でした。

私は6月にベラルーフに帰らなければなりません  
でした。それは私が勉強していたベラル  
ーフの大学を卒業するためです。卒業試験が  
うまく行くと、私は問題なく大学を卒業する  
ことができました。卒業式の次の日に日本に  
向か、て飛行機に乗りました。乗り換えが二  
つありました。まずはミソスクからアブダビ  
まで、次はアブダビからホンコンまで、そし  
てホンコンから大阪までです。一つの飛行  
機の時は全部うまく行きましたが、その後で  
トラブルが起りました。今はそれはたいし  
たことじゃなかったとおかれますが、あの時  
の自分が絶望していたことを、まじり覚えて  
います。

ホンコンに向か、ていた飛行機がなぜか1  
時間遅く出発し、私はとても心配になりました。  
それはどうしてだめだ、たかといふと、  
実はホンコンでの乗り換えの時間がとても少  
なか、たからです。次の飛行機に絶対間に合  
わないと気が付いた時、私は言葉でいきな

ぐらにおくなりました。そのころのは初めてでした。その時に私を助けてくれた人は一士人でした。一士人は隣の席に座っていた木のここの人で、60才ぐらいの女の人です。一緒にいた9時間で私たちは知り合って、仲よくなりました。彼女は私をばいませ続け、安心させようと思いました。そして飛行機を降りる時も彼女は私とともに行き、飛行機が空港のストップと私の代わりに話を付けました。結果は大丈夫でした。「次の飛行機は天気のためで2時間遅く出発することになりました」とストップから聞いてほっとしました。日本へ行く飛行機に間に合うとわかると安心しました。そして一士人と別れて、無事に日本に着きました。

あのできごとは今でも不思議に思います。

初対面なのに、私が頼んでもいなかっただのに、しよけんが私を助けようとした一士人かよてもか、こよく見えました。私もその人になりたいです。